

学校の教育目標「美しい心もち 自ら考え たくましく やりぬく子」

半布里

富加町立富加小学校 校長 小森 明彦

TEL 0574 - 54 - 3303 児童数 343 名

2018 年 5 月 2 日発行 学校だより号外

感謝の一日



「親子登下校の日をつくりたい。」

昨年度の 1 2 月に P T A 本部役員会でお願いしてから、ようやくこの日を迎えました。

「本当にこの距離を歩くんですか？」という声があったと思います。

「雨が降ったらどうしよう？」

「夏日だったらどうしよう？」

「大勢が参加する懇談会場はどうしよう？」

「本当に親さんは歩いてくださるだろうか？」

初めての試みなので学校でも色んなことを想定して計画・準備しました。

そして、迎えた当日の朝、雲一つない晴天を見てほっとしました。学校ではじっとしていられず、川小牧方面の分団を迎えに出かけました。中橋に差し掛かると、遠くから大平賀の分団が歩いてくるのが見えました。親さんもちゃんと歩いてくださっているのを見てほっとしました。教頭先生も心配して登校の様子を見に行ってくれました。撮ってもらった写真は、どれも親子のすてきな光景でした。



この日を迎えるために、P T A本部役員の方には4月当初より連日、計画・準備をしていただきました。例年より大勢の方の参加を想定して240席のいすを準備しました。ところがそれでは足りず、さらに追加した次第です。P T A会員数は247ですが委任状の数を考えると十分なはずでした。それでも足りなかったのはご夫婦、ご家族での参加があったからです。とてもありがたい話です。



その後の授業参観では、大勢の保護者に囲まれながらも、子どもたちは生き生きと活躍していました。

さらには、学年懇談会にも大勢の保護者の方に参加していただきました。

2年生では、家庭で取り組む算数 Web ラーニングについて説明していました。「今、子どもたちの中に“時こくと時間”の学習でつまずいている子がいます。算数 Web ラーニングがお勧めです。」という担任の説明に従い、親さんは手持ちのスマホで操作方法を学んでみえました。



4年生では、家庭学習の大切さを親さんに説明していました。毎日の積み重ねで、確実に計算・漢字の力は付きます。これは、担任がこれまで指導してきた経験から実証済みです。しかし、そのためには保護者の方の協力が必要です。家庭と学校が共に手を取り、子どもに家庭学習の習慣を身に付けさせるチャンスとしたいです。

5年生では、算数少人数指導について説明していました。本校の5・6年生算数では、本人の希望とプレテストを基に、習熟度別に分かれて授業を行う単元を設けています。決して、できないことが恥ずかしいのではありません。できないことをそのままにしておくことこそ、恥ずかしいのだと考えます。これからも、その子の持つ可能性を最大限に伸ばすことのできる授業形態を大切にしていきます。

そして6年生では、4月の6年生の活躍を映像や写真で紹介していました。右の写真は担任の話を聞く親さんを写した一枚です。わが子の活躍を食い入るように見つめたり、最高学年としての責任ある姿を誇らしそうに聞いたりしてみえる姿が印象的でした。



いずれにせよ、**感謝、感謝の一日**です。帰りの道中は暑かったと思います。ご無理を言った一日でしたが、ご協力、本当にありがとうございました。